

HOKKAIDO in HCMC

7月11日、日本プロ野球名球会の企画で、ホーチミン日本人学校に「北のサムライ」小笠原道大さんが来校しました。生徒とのキャッチボールや質問コーナーなど、あの迫力ある声でたくさんの刺激を与えてくれました。



また、先日はSTVテレビで放送しているどさんこワイド179のコーナー「世界のどさんこ発見 旅 MASA to ザ・ワールド」で旅を続けている瀬戸雅斗さんが本校を訪問、その様子がテレビ放送される(まだご覧でない方は、ぜひどさんこワイドのYouTubeチャンネルでご覧ください)など、すっかり北海道モードになっている(!?)ホーチミン日本人学校です。

そんなホーチミンから、今日は「ホーチミンの中の『北海道』」をレポートします。

まずは、7月18日に我が家から歩いて5分のところにホーチミン初出店した「ツルハ」。

すでにホーチミンには「マツモトキヨシ」が14店あり、どこも盛況です。ただ、どちらかというとホーチミンのマツキヨは「おしゃれ化粧品店」といった感じです。

それに比べてさすがはツルハ。化粧品や洗剤、シャンプーや石けんはもちろんのこと、お菓子や食品も豊富です。BGMも日本と同じあの歌です。



私はツルハで、以前に爆笑問題のTV「インスタントラーメン総選挙」で1位に輝いた「サッポロ一番みそラーメン」を買ってしまいました。5個パック750円とお高めですが、懐かしい日本の味はエネルギーが回復します。麦茶とか海苔とか、店内を歩くと笑顔がこぼれます。

さて、ホーチミンに住むベトナムの方が「HOKKAIDO」の言葉から真っ先に思い浮かべるのは、この「SUSHI HOKKAIDO SACHI」ではないでしょうか。

ホーチミン市内で11店舗、ハノイに3店舗を展開する和食屋さんで、日本から高品質の食材



を毎日航空便で輸入するだけでなく、ベトナム海域の新鮮食材を取り入れたり、野菜はダラット(「ベトナムの軽井沢」とも言われる高原地帯)から持ってくるなど、食材へのこだわりは定評があります。上握り1,400円は、日本では良心的な価格ですがホーチミンではまあまあ的高级食です。ちなみに私が外食するときは、「朝なら40 ドン(230 円)

以内、昼なら70 ドン(400 円)以内」を心がけていますので、なかなかこういう高級店に行く機会はありません。

こちらは「梅光軒」です。

言わずと知れた旭川ラーメンの名店で、高島屋デパートがあるサイゴンセンターの地下にあります。いつも横をとりながら『醤油ラーメン860円』かぁ。メンマはちゃんとゴン太だし、にぼしのおいしいなあ」と思いながら(←いやらしい)も、せっかくの梅光軒「特別いいことがあったときのごほうびか、疲弊してたまらんときの回復剤に、とっておこう」と心に決めています。



ちなみに梅光軒、国際情勢に明るい緑丘小の岩崎先生によると「以前はシンガポールの高島屋にもありましたよ」とのこと。高島屋と梅光軒、何かありますね。



この他にも、家具のニトリは、おしゃれなレイアウトで確固たる地位を固めています。日本と同様の品揃えに加え、家電周りなどベトナムの品もたくさん並べており、たくさんのお客さんでにぎわっているのを見るのは北海道の人にとってうれしいことです。なんか偉そうですけど。

ホーチミンでは、北海道産の「ななつぼし」が2kg1,400円と、米高騰の日本と変わらない値段で売っています。お弁当に入れてもおにぎりにしてもさすが信頼のブランド。しかし、ご存じのように私はとにかく米を食べるので2kgなんてあっという間になくなり、高い米がもったいなく感じるようになりました。そこで、今は「あきさかり」。日本の種をベトナムで育てているとかで、味はまあまあ、値段は2kg600円。白いご飯もおいしいし、チャーハンや豚丼にしたら北海道米と変わりませんよ。

